

さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより
令和2年度 第5号 (9/16)
発行責任者：校長 古正栄司
一色小学校：0463-71-1543

「さすが二宮町!よくぞ、去年のうちに全校へのエアコン設置を完了しましたね! えらいぞ!」



二宮町に対してそんな賛辞を送りたい気持ちで夏休みを過ごし、8月18日(火)の2学期始業式を迎えました。短かった夏休みの感想を子どもたちは「暑いのにプールに行かれなくて残念だった。」「コロナで旅行に行かれなかった。」「夏休みって感じがしなかった。」「これくらいでちょうどいい。」「これくらいの休みが時々あったほうがいい。」など語ってくれました。もしかすると、今まで当たり前にしていた長い夏休みを見直す、良い機会なのかもしれません。

コロナに加えて「熱中症対策」にも追われる毎日でした。朝晩は多少涼しくなりましたが、11日(金)も暑さ指数は31度を軽く超えました。もしも教室にエアコンが付いていなかったらどうなっていたのでしょうか…。学級担任は大変です。コロナ対策で換気をしなければなりません、ずっと窓やドアを開けていると、教室の温度はほとんど下がりません。しゃべりながら窓を開け閉めしている先生もいます。授業中にこまめに水分補給もさせなければなりません。必要に応じてマスクの脱着も指示します。その上、授業はややスピードアップ。大変です。

校長は、毎日の仕事に熱中症情報のこまめなチェックが加わりました。「危険」なレベルか、「厳重警戒」レベルなのか。微妙な場合は実際に校庭や体育館へ行き、気温や室温を確認し、その場所の暑さを体感して、最終的に体育や遊びを中止するかどうか判断しています。「せっかくの昼休みの遊びを校長先生が禁止した…」と恨めしそうな顔で子どもたちから言われることもありましたが、その子どもの「命」を守る大事な責任がありますので、辛いですが、何を言われようとブレることはありません。まだまだ気温が30℃を超す日が続きそうです。もうしばらく気を緩めず、熱中症対策に「熱中」します。



コミュニティ・スクールの今日この頃

9月1日(火)の午後、今年度2回目の学校運営協議会を開催しました。一色小学校の現状と課題について会長と校長がそれぞれ報告し、質疑を受けました。

後半の3つの部会(校外安全部会・学び交流部会・学校環境部会)には、先生たちも全員加わり、部会の現状や今後の取組みについて話し合いました。校外安全部会は11日(金)にも開かれ、部会長さんはじめ部員、百合が丘地区の民生委員・児童委員さん、地域の見守り団体の責任者、PTA校外委員さん、PTA会長さんなどたくさんの方々が集まり、百合が丘地区の子ども見守り体制等について話し合いが行われました。



遠足・校外学習・野外活動教室

今年2月に立てた「令和2年度年間行事計画」は、臨時休校等感染症による影響で、大きく変更・中止などせざるを得なくなっていました。どの行事にも大事なねらいがあります。シンボリックに「頭は授業で、心は行事で…」と言われることもあります。確かに学校行事にはそういう側面があります。学習が遅れ気味だからとか、十分なコロナ対策が難しいからと学校行事を中止するのは簡単ですが、一色小学校の規模の小ささを生かすことでできる対策もあります。9月・10月にはバスを使った遠足・校外学習を実施することにしました。対策の主なものは次の通りです。



- 新型コロナウイルス感染症の状況と施設の受け入れ状況等を考慮して、見学場所を選定
 - 密集対策の一つとして大型観光バスを利用
 - 当日も含めた、毎日の健康観察の実施
 - バス乗車前に検温
 - バス移動中の、いわゆる「バスレク」の禁止
 - 移動中は、見学する施設の紹介DVDや校外学習のテーマに沿った映像資料の車内視聴等の工夫
 - 車内での可能な限り座席の前後左右の間隔確保
 - 会話自粛、マスクの着用
 - バスの窓を常時、あるいは定期的に開放して換気
 - 普段の給食同様、弁当の対面禁止、会話自粛
 - 手洗いの励行、必要な衛生用品の携行
 - 緊急時のための引率人数の確保
- 外出先で児童に発熱等の症状が出た場合、それ以上同じバスに乗せることができません。そのため、保護者が迎えに来るまでその場に引率教職員が一緒に待機する場合も想定しました。このため、遠足・校外学習等当日に、急な連絡をさせていただく場合がありますので、すぐに連絡を受けられるようお願いいたします。また、到着時刻が20分以上前後する場合には、できるだけマチコミメールでお知らせしますので、気にかけていただくと助かります。遠足・校外学習・野外活動教室の実施について、ご理解・ご協力いただけますようお願いいたします。

小4 オンラインゲーム事件から

誘拐された子が無事に保護されて、本当に良かったです。ネット依存、高額課金トラブル、ネットいじめ…高度化するデジタル社会には様々な危険が潜んでいます。トラブルを未然に防ぐための親子でのルール作りも大切ですが、ルールは守らなくなってしまうこともあります。したがって、何かあった時の回避行動の仕方についても、具体的に親子で話し合っておくことが大切だと思います。

